

るも獨軍高射砲に依り驅逐せられ爆彈四個をベルギー内に投下した。

一、リトワニヤ電報通信報道

二七日ポーランド軍用機はコウナスに着陸し搭乗者は拘禁せられ飛行機は沒收せられた、現在リトワニヤには一萬のポーランド將校、兵士が避難し居り收容所に拘禁せられて居る。フランス政府は周知の如くに共產黨の解散を行つたが政府は特別法を發布し共產黨發表の一切のスローガン發表を禁止した、各種新聞は議會の共產黨選出代議士除名の論説を掲げて居る。社會黨のブルム黨首は社會黨紙上に於て政府の處置は正しと述べて居る。

二、ユー・ビー報道

フランス警察は巴里の共產黨本部並に地方支部の襲撃を行つて居る。一方警察は人民戦線派に屬する共產黨系社會團體に對しても手入れを行つて居る。

右系新聞は共產黨首腦者の拘禁、比例代表制の再檢の論説を掲げて居る。

一、支那戦況、重慶タス通信

中支戦線、湖南省東部の戦況は緊張しつゝある、二六日支那軍は二千の日本軍に對し粵漢線南部に於て攻撃を再開した。數千の日本軍は播陽湖の南部に於て支那軍を攻撃して居る。ヂャンスの西北で日本軍は支那軍を攻撃した。

二四日六百の日本軍はウンミンの支那軍陣地を攻撃し二百を失ひ北方に退却した。湖南省東南部トンチエン、ダフエンフで日支の間に戦闘が繼續せられて居る。

本日の新聞論調 (第三百三十六號)

内閣情報部十・四

△ノモンハン事件の説明

一、物心兩面の國防整備が急務 (朝日)

ノモンハン事件の顛末發表は、これが今日まで嚴秘に附せられた事實であつた、廣く内外の疑惑を解き且つ今後に對する官民の心懸を引締める上に絶大の効果あるを信じて疑はぬ。この點吾人は軍當局の率直な態度に敬意を表する。同時に犠牲者が意外の多數に上つてゐる事實に對し同情を禁じ得ない。一萬八千の勇士に心から感謝の辭を呈する。軍當局はこの機會に活きた教訓を本事件から汲み取り、軍の精神的訓練は勿論、軍の機械化等物質的戰備の充實を期すべく十分の検討を加へつゝあるであらうことは今回の説明に際し窺ふことが出来る。何故に陛下の軍隊を四ヶ月の長期間、かゝる不利の地位に暴露し一萬八千の戦死傷病者を出さねばならなかつたかは、いま追及すべきでないが、この事件の教訓を胸に銘記し、警むべきは警め、引締むべきは引締め一路物心兩面に於ける完璧不動の國防整備に邁進することが何よりの急務であり、これが上聖明に對し、下犠牲の英靈を慰める唯一無二の道たるを信ずる。

一、韓禍爲福の計に専念すべし (讀賣)

ノモンハン事件の戦況につき軍當局は三日の地方長官會議においてその要旨を説明した。劣勢なるわが軍が十日間に互る激戦を通じ、敵の優勢なる機械化部隊に對して果敢なる反撃を加へ、一步たりともわが陣地に近づけしめなかつたことは、まさしくわが軍のみのもつ灼熱せる精神力の賜に外ならない。戦争における最後の勝利が、一軍の精神力にあるべきことはノモンハン事件において遺憾なく立證されたのであるが、しかし戦争の過程において近代科學の精粹に立つ機械化部隊が、如何に重大な威力を發揮するものであるか。如何なる場合に臨むも盡し得べき最大の手段を盡すの要あることは、この事件の経過に顧みても愈々痛感されるのである。停戦協定によつて、日ソ關係にかすかながらの曙光を認め得ざいふも、滿ソ國境の不明確と積年の懸案を繞つて、前途決して樂觀を許さないのである。外交當局はこの事件によつて醗酵された機運を逸するところなく、彼我國交の調整に最善を盡し、今こそ轉禍爲福の計に専念すべきであらう。

一、科學精神を作興せよ（日々）

寡よく衆に敵し、優勢なる戦ひを闘ひ得たといふのは、わが國傳統の精神力によること多いであらう。武器の精粗については、これを軍當局に、信頼を以て一任すれば足りる。然しながら武器の精銳を持ち來すべき根據を爲すところの、科學精神の發達についてはわれ等一般國民の責任範圍に屬してゐるのだ。

顧みてわが國の科學界と、科學精神の發達の程度は、未だ世界第一流を以て任するに到らざるものがあり、文政當局に對しても、一段と努力が要望される状態にあるのである。われ等はノモンハン事件の教訓に顧みて、大いに科學精神を作興し、世界無比の精銳武器を準備し、外國をして一指を染めしめないだけの準備をなさなければならぬ。

△注視すべきアメリカの動向

一、米國の態度闡明（日日）

米國政府が、二日ハル國務長官の聲明を通じて、獨ソ兩國のポーランド征服を承認せずとして、その態度を表明したことは、歐洲戦争の動向を一段と明かにしたものと見て注目し得る。英佛をして戦争繼續の決意を更に鞏固ならしめると同時に、ドイツが獨にルーズヴェルト大統領に期待してゐたと傳へられる和平調停計畫に、ごごめをさしたものと見ることが出来る。米國が眞向からポーランドの「新事態」を認めぬといふ以上、イタリ側で畫策するかに傳へられる「五國平和會議案」の如きも、その實現性は、まづ絶望と見ておいてよからう。あけすけにいへば、米國政府はあらかじめ英佛側と十分の打合せをすませた上で、ポーランド分割に對する米國の態度を表明したものと考へられる。米國政府の今次の聲明は、米國が一步、歐洲戦争に踏み込んだことを意味するのであつて、それが今後如何なる展開を見せるかは、戦局推移の關係上、輕々に看過し得ない點であらう。

一、責任を負はぬ米國の放言（國民）

米政府は獨ソの波蘭分割を承認しない旨ハル長官より聲明した。米の波蘭國家の繼續承認は英をして對獨和平の考慮を封じ去る結果となり、英獨商議は未然に壓殺されることになる。その結果はヨーロッパに人類が殺戮し合ふ不幸は擴大され、長期に亘るのである。米は自己の發言の影響に付て眞に省察するところがあるのであらうか、疑問なきを得ない。歐洲戰亂勃發の責任の一つは米政府—ル大統領の負ふべきものだ。彼は米の國境はライン河にありと公言し時に英佛支援をほめかした。英の對獨官戰にこの材料が織込まれてゐないことは保證出來ない。然るに米は中立を宣言し中立法の改正を企圖してゐる。吾々は蔣政権が抗戰能力を喪失、壊滅せんとしてゐる時に、米がマニラ大艦隊を増遣して暗に日本を牽制し蔣政権にモラル、サポートをあたへ様としてゐる現實を目前にしてゐるだけに米の無責任な放言に對しては特に不快を感じる。

△米ソの關係異状あり（朝日）

ハル長官が「ソ聯のポーランド占領通告は一方的のもので米政府の容認するものでない」との談話は、米の固執する理論の適用に過ぎないが、侵略國排撃に一致を標榜した米ソが相背馳するにいたつた事に特色が認められる。

米のこの主張は善かれ悪しかれ待論の一貫を示して居るのであるが、ソ聯が獨ソ不侵略條約によりリトヴィノフ外交の基調たりし國際聯盟規約の一蹴に始り、その對波進攻は明瞭な侵略政策への轉向であるから、從來ソ聯に期待する所少くなかつた米國の戸惑は蓋し洞察に難くない、去月モスコイ發アヴアス通信はソ聯の宣傳が英米攻撃に轉ぜるを傳へ、殊に米が日ソをして戦はしめんを努めつゝあることを報道したのは、日ソ停戰協定を米が睥睨したのと思ひ合はざるゝにせよ、それは齒牙にかけると及ばぬ、こゝには單に米ソ兩國の乘離を指摘する。

△多難の農林行政

一、専任農相を設置せよ（中外）

農相と商相の兼任制は、少數閣僚制によつて閣内の結束を強化せんとする政治的要求に基づくといふよりは、寧ろ農林行政と商工行政の對立關係を、兩省長官の兼任といふ制度上の統一作用によつて解消せんとする所に主眼があつた。従つて伍堂農商相としては、國務大臣としての政治的責任に加ふるに、兩省長官としての行政的手腕の有無が極めて重要な要件となつて来る。然るに伍堂農商相は、商工行政についてはともかく、農林行政に關しては全然經驗がない。最近石油共販問題、及び農産物の對獨ブロック輸出問題を繞つて農村關係團體の伍堂農相に對する不信任は著しく昂じつゝあるが、斯く事態を悪化せしめた

罪は、伍堂氏その人に非ずして、所謂少數閣僚制の形骸に泥はれて、その實質を忘れた現内閣の批判力の缺除に歸すべきであらう。阿部首相は、この際先づ少數閣僚制といふが如き空虚なる先入觀念を拂拭すること共に、迫力ある専任農相を設け、以て問題の速かなる解決を期すべきである。

一、専任農相問題の歸趨（輿民）

伍堂農相と農村各團體との對立は依然緩和されず、進んで専任農相の設置を首相に迫るといふ政治性を帯びんとしてゐる。首相が組閣當時閣僚の少數主義を標榜したのは、從來の内閣が政治上統一を缺き、各省對立割據の弊をこれにより匡救せんとしたのであらう。併しその原則が商工と農林、殊に伍堂氏の場合適當であつたか、疑問が存する。我が國の農村は平時にさへ多くの封建的遺制と極端な集約經營のために、他の産業部門に比し著しい重壓を蒙つてをり、最近表面的な實收収入の増加による農家經濟の好轉はあるとしても、物價矛盾の激成による負擔は大となつてゐる。況や兵燹一效の言葉に示唆される戦争と農村との關係に至つては新しく繰返すまでもない。この際は徒らに、大臣一個の信念の正しさや、抽象的な組閣方針にこだはつても問題の解決にはならないのであつて、寧ろ首相が速かに専任農相に大局的な政治家を起用するのが當然の措置ではないか。

一、食糧政策の確立、官民懇つて邁進せよ（報知）

現在の出廻り不圓滑、飯米不足より考へるならば、本年十月末端境期における翌米穀年度持越高は數百萬石も覺束ない。しかも消費をこのまゝ放任せば農村人口の都市集中、藪景氣、農産物高で、農村購買力の増大、軍需米の借出等ますます消費は増大する趨勢にある。我等は先づ第一に(一)如何なる犠牲を拂つても、絕對生産の増加を要求する。(二)として現在なほ緒についたばかりではあるが、日本米穀會社の機能を十分に發揮し、配給統制法の全面的發動によつて配給の徹底的合理化を提唱する。(三)更に消費調整、節米運動、代用食の國民運動化を強く叫び度い。統制、統制と口にはいへど、配給機構そのものが舊態依然たる自由主義時代のものであり、政府の首腦がまたさうした思想からあまり進んでゐない關係もあつて、そのやり方は如何にも生温い。國民生活の基調をなす食糧政策は、新東亞建設に重大な影響あるを思へば、官民懇つて目的達成に邁進すべきである。

△首相の訓示（都）

地方長官會議における阿部首相の訓示は組閣以來の談片を繋ぎ合せて之を綜合せる所のものにして、特に人を感奮興起せしむる迫力はなく、ヒトラー總統が口を開く毎に其國民をして血湧き肉躍らしむる如き概なきも、善く言へば平明通俗にして但耳に入り易い。其特色を求むれば、政綱政策の重んずべきは其文字に非ずして實行に在るを強調し、全力を盡

して國民の期待に副はんことを誓へるに在る。今一つは官憲の指導強化に伴ひて國民に壓迫感を與へ、國民の士氣を萎靡せしむるを戒めたる點である。吾等は之を後日の左券として其爲す所を見んと欲す。

△其他「官民の融和、地方官の苦言、軍部の更迭、原動力制限」(都)

内閣情報部一〇五 情報第一號

雲南日本語放送(二日)

(東京都市通信局稿取)

一日本軍は今回の長沙攻略戦に當つて盛んに毒瓦斯を使つて長沙の奪取に夢中になつて居りますが中國軍の奮戦によつて苦戦を續け中國軍は九月二十五日までの戦間に於て敵の將兵七千餘名を殲し信艇六十餘隻を撃沈して赫々たる戦果を挙げ九月末日までに日本軍四ヶ師の過半が殲滅して大戦果を獲得して居ります。散戦の日本軍は増援を得空からは連日爆弾の雨を降らせ地上では大砲毒瓦斯によつて長沙の攻略に死物狂となつて居りますが甚大な損害を受けて苦戦を續けて居ります中國軍は戦路上から武漢の地を敵に委したのでありますが武漢を撤収した中國軍は長沙方面に堅陣を設け日本軍の來襲を邀撃する作戦を採つた爲に日本軍の作戦は全然失敗に陥し日本軍は長沙攻略に當つて非常に高價な代價を拂ひ中國軍の日本軍消耗作戦は見事にその目的を達成したのであります。